

かみすげたささのおか

令和2年5月7日
上菅田笹の丘小学校
学校だより5月号

みんなで
東京2020
オリンピック・
パラリンピックを
応援しよう。



上菅田笹の丘小学校 学校教育目標
自分大好き 仲間大好き
心かがやく上菅田笹の丘小学校



初年度の重点研究は道徳教育

校長 縣 利一

4月から上菅田笹の丘小学校が開校し、新出発をしたところですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として政府が緊急事態宣言を発出し、学校では授業が行えない状況で一月が過ぎました。学校としてはゴールデンウィーク明けからの授業再開へ向けて準備をしておりましたが、安倍総理は緊急事態宣言を延長することを表明しました。それを受け、横浜市は引き続き5月31日まで休校を継続することとなりました。そこで、学校から子供たちへの学習支援のために、各家庭にお配りしたいものがありますので、保護者来校日を設けることとしました。また、引き続きご家庭への連絡はCOCOO(ココウ)でお知らせしますのでご覧いただきたいと思います。印刷したものが必要な場合は、学校へ連絡をしていただき保護者の方が取りに来ていただくようお願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染者の増加に伴って、マスクや消毒用アルコールをはじめ一部の生活用品が品不足になるという事態が起こりました。現在も消毒用アルコールなどは手に入りにくい状況が続いています。「在庫は十分にあるので、買い溜めをしないでください。」とのお店の方のお知らせは、不安からついつい買い込んでしまう消費者心理に冷静さを与えてくれました。不測の事態が起こると不安になりパニックを起し、冷静に正しい判断が出来なくなるということはしばしば起こります。特に今回のように、新型コロナウイルスの感染拡大という社会的に不安になる事態が起こると、群集心理が働き「防衛的な乱集行動」と呼ばれるパニックを起し「早く買わないと無くなってしまう。」などと思い込み、必要以上に商品を買ってしまふのです。その結果、商店から品物が無くなってしまい品不足になり、さらに不安が増幅されていくというメカニズムが起こります。群集心理には「一体感」という、時に孤独感を解消させるという面もありますが、「無責任性」による“みんなやるから怖くない”的な行動をとりやすくします。さらに「無名性(匿名性)」という罪悪感を弱める働きによって、非人間的な行動を取ってしまうことになるのです。

私たちは世界の中でも、礼儀正しくマナーやルールを守る国民性があると言われていています。事実、自然災害に見舞われた時も被災地において、ルールを守り協力し助け合って生活をしています。このような行動が出来る人々の心には「徳」の教育が根付いていると言えるのではないのでしょうか。今こそ、私たち全員が「徳」教育の成果を問われているのだという自覚を新たに、学校・家庭・地域のそれぞれの立場でよりよい生き方を探っていきたいと思います。

上菅田笹の丘小学校は、開校初年度の今年、重点研究に「特別の教科 道徳」を行うこととしました。研究テーマは「自己を深く見つめ、よりよく生きる力を育てるための道徳科のあり方」とし、副題を「日常からの“課題”を生かす授業づくり」としました。子供たちの毎日の生活の中に、よりよく生きていくための課題は数多くあり、それに気づいていく中で自分自身がよりよく生きるためにはどうあるべきかを考えていき、自身の幸福な人生を築いていくと共に、社会の繁栄に寄与する人生を歩む子供に育てていきたいと考えます。道徳教育を通して子供たちを幸福にするために、生命尊厳を根本とした人間性の開花を図る研究の推進を図っていきます。これから連綿と続いていく上菅田笹の丘小学校の教育の原点を形成する一年にしたいと考えますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いたします。